



国際ロータリー2026 - 2027年度メッセージ

「持続可能なインパクトを生み出そう」

国際ロータリー会長

オラインカ・ハキーム・ババロラ氏

ロータリーのビジョン声明はこう始まります。「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生み出すために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。

2025-26年度、RIは「よいことのために手を取りあおう」というメッセージを通じ、ビジョン声明にある「手を取りあって」に焦点を当ててきました。

26-27年度は、その次の段階、「持続する変化」を生み出すことに取り組みます。

「ポリオ根絶や平和センター、グローバル補助金など、世界規模の持続可能な変化は理解しやすく、会員たちは実際に地域社会で持続可能な変化を生み出しています。一方で『自分に起きた持続的な変化』を尋ねると、会場は静まり返ることが多いのです」ロータリーを成長させる鍵は「自分への変化」プロジェクトの成果を測ることは重要ですが、「それが自分にどんな影響を与えたか」も問うべきだと語ります。

「私は恵まれた環境で育ちました。ロータリーは、その特権的な世界から私を連れ出し、地域社会の現実と向き合わせてくれました」多くの会員が、人生がどう変わったのかという物語を持っています。「この組織を成長させるには、会員になることが、自分の人生にどれほど持続的な変化をもたらすのかを、人々に伝える必要があります。その手助けをしたいのです」

ロータリーが私を“外交官”にした2018-20年度、RI理事として80以上の国・地域を担当。そこにはアフリカ、中東、欧州の政治的に繊細な配慮を要する地域も含まれていました。

エジプトでのロータリー研究会では、西サハラを独立国として表示した地図を巡り、政府高官から連絡を受けたこともあります。「こうした経験が、必要な感覚を養ってくれます」

アフリカ出身2人目のRI会長として「アフリカの人々にとって、大きな意味があります」。

「話すだけでなく、行動すること。うまくいっている例は、遠慮なくまねすればいい。

恐れるべきは失敗ではなく、挑戦しないことです」

RI 会長プロフィール

所属クラブ オラインカ・ハキーム・ババロラ ナイジェリア、トランス・アマディ・ロータリークラブ

- ・1988年に大学で工学の学位を取得。
- ・シェル PLC で要職を歴任するなど、石油・ガス業界で 25 年間勤務し、4 大陸でプロジェクトを実施。
- ・リビエラ・サービス社（石油・ガスインフラ供給会社）
リード・アンド・チェンジ・コンサルティング社（管理職コーチングと組織業績アドバイザーグループ）の 2 社を設立。
- ・ババロラ氏が所属する専門職団体には、ナイジェリア技術者協会、安全専門家協会、変革管理専門家協会などがあり、経済・社会政策について政府に意見を提供する地元組織、ジェリコ・ビジネス・クラブのメンバーとなっています。
- ・1988 年から 1994 年までローターアクターとして活動
- ・2018-20 年度に RI 理事
- ・2019-20 年度には副会長を務めました。
- ・1994 年以来、トランス・アマディ・ロータリー・クラブの会員
- ・2011-12 年度に地区ガバナー
- ・2017-23 年度に End Polio Now :
歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会（2017-20 年度副委員長）
- ・2013 年～現在はナイジェリア・ポリオプラス委員会での役職を歴任。
- ・冠名基金とアーチ・クランフ・ソサエティを通じてロータリー財団を支援。
- ・シェルターボックス UK の評議員
- ・セーフ・ブラッド・アフリカ・プロジェクトの理事としてボランティア活動も行っています